

まんさく



西和賀町内が大雪で交通渋滞に陥った日：1日で144cm！



こちらは大雪から数日後の理事長車(笑)

12月中旬以降の突然の全国を
混乱させているドカ雪と低温に
は、豪雪地帯が雪に慣れている
はずの西和賀人も困惑している。
人間の思うようにはならない
のが自然。その自然を思うよう
にしようとかわが者顔に振ってし
まった近代人への問題提起が、
災害や感染症という形で教示さ
れているのだと思ひ知らされる。

④

当日、出勤不可能になった職員も！
空前の大雪到来
〔12月の豪雪は1月も続く…〕

お年寄りの暮しのよりよい事を探し続けます

【生活】「⑥介護部門…大通り」 ☆菊池直樹☆

法人キーワード	2020年度共通のキーワードは『観る』		
2020年度上半期のイメージ	テーマ	気づきを築く	
	理想像	目標 ①	目標 ②
		気持ち良く過ごせる。	心と体の変化に気づける。
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①寝ぐせ・目ヤニ等、お年寄りの方々の見た目に気を配る。 〔通年〕 ②見て気持ち良い環境整備に努める。 〔通年〕	①状態変化に気づける観察力・洞察力の強化。 〔通年〕 ②「①」で気づいたことの報告・連絡・相談と情報共有を密に行う。 〔通年〕	



2020年度上半期検証	<p>『目標①の①について』 ⇒面会や受診に出掛ける前、余裕をもって整容に配慮することができた。</p> <p>1 『目標①の②について』 ⇒離床後のベッド回りが、「起きっぱなし」の状態になっている事があるので、基本に戻って気をつけていきたい。</p> <p>1 『目標②について』 ⇒引き続き、観察力・洞察力の強化に努め、情報共有を密に行っていきたい。</p> <p>【結果目標】 上半期と同じ目標で下半期も臨みたい。</p>
-------------	--



2020年度最終的イメージ	テーマ	気づきを築く	
	理想像 下半期	目標 ①	目標 ②
		気持ち良く過ごせる。	心と体の変化に気づける。
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①寝ぐせ・目ヤニ等、お年寄りの方々の見た目に気を配る。 〔通年〕 ②見て気持ち良い環境整備に努める。 〔通年〕	①状態変化に気づける観察力・洞察力の強化。 〔通年〕 ②「①」で気づいたことの報告・連絡・相談と情報共有を密に行う。 〔通年〕	

コロナ禍と人手不足という苦難が続く中でも

【生活】「②医務部門」 ☆佐藤真理子☆

法人キーワード	2020年度共通のキーワードは『観る』					
2020年度上半期のイメージ	テーマ	お年寄りと向き合う				
	理想像	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お年寄りの置かれている状況を知ることができる</td> <td>お年寄りが求めているものを受け止め、家族と共有することができる。</td> </tr> </tbody> </table>	目標 ①	目標 ②	お年寄りの置かれている状況を知ることができる	お年寄りが求めているものを受け止め、家族と共有することができる。
	目標 ①	目標 ②				
お年寄りの置かれている状況を知ることができる	お年寄りが求めているものを受け止め、家族と共有することができる。					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>①自分自身の心にゆとりを持つ。 【通年】</p> <p>②お年寄りと目線を合わせ、表情と言葉から伝えたい事を読み取る。 【常時】</p>	<p>①普段からお年寄りの想いを汲みとり、家族との橋渡しができる。 【常時】</p> <p>②家族への連絡を小まめに行う事で、家族の視点から物事を観る事ができる。 【随時】</p>				



2020年度上半期検証	<p>『目標①について』 ⇒介護との連携と情報の共有により、お年寄りの体調変化に対応することができた。</p> <p>『目標②について』 ⇒上半期は入院するお年寄りが多かったが、退院後もご家族に状況をきちんと伝え、ご家族の不安等を取り除くことに努めた。 ⇒コロナ禍による面会制限の中であって、お年寄りの状況を丁寧に伝える事と共に、ご家族の想いのほうもお年寄りに伝える事ができた。</p> <p>【結果目標】 上半期と同じ目標で下半期も臨みたい。</p>
-------------	--



2020年度最終的イメージ	テーマ	お年寄りと向き合う				
	理想像 下半期	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お年寄りの置かれている状況を知ることができる</td> <td>お年寄りが求めているものを受け止め、家族と共有することができる。</td> </tr> </tbody> </table>	目標 ①	目標 ②	お年寄りの置かれている状況を知ることができる	お年寄りが求めているものを受け止め、家族と共有することができる。
	目標 ①	目標 ②				
お年寄りの置かれている状況を知ることができる	お年寄りが求めているものを受け止め、家族と共有することができる。					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>①自分自身の心にゆとりを持つ。 【通年】</p> <p>②お年寄りと目線を合わせ、表情と言葉から伝えたい事を読み取る。 【常時】</p>	<p>①普段からお年寄りの想いを汲みとり、家族との橋渡しができる。 【常時】</p> <p>②家族への連絡を小まめに行う事で、家族の視点から物事を観る事ができる。 【随時】</p>				

コロナ対策を整えています



右上は隔離部屋を創る等行う『ゾーニング』検証の様子
左上は『陰圧機導入』。ウイルス等浮遊した際に空気を清浄化する機械を3台導入。
左下は『コロナ等感染対応チームによる有事の際のシミュレーション風な立ち話会議』

光寿会ホームページ リニューアル致しましたぐ〜♪

『光寿苑』または『光寿会』で検索しますとヒットします！
パソコンは勿論の事、スマホでもご覧になれます。ぜひ覗いてご覧下さい♪

想... 災害を捉える

福島を今を拝聴します

『被災地・福島に吹く3つの風』…八幡朋行さん

3.11から9年10ヵ月…。コロナ禍一色の様な世情に、あの過酷な原発事故問題はど
こかに置き去りにされてはいないのか？八幡朋行様（相馬市）より一筆頂きました。

被災地・福島に吹く3つの風

寺院建築で、鈴のような軒下に吊るす風鐸があります。強い風が吹くとカランカランと鈍い音が鳴り、一般的にはその音が聞こえる範囲は、聖域で災いから守られるとされています。

浄土真宗は、罪悪深重の凡夫への自覚を促す教えですから、一般的な災いから守るとか、邪魔者と敵対し死滅させたり、自身の魔性を取り除くのではなく、どこまでも罪深き身と知らせ気がかせる意味での風鐸の音と受け止めねばならないのかも知れません。

このように、私が問い掛ける風とは異質な「排除の風」が吹き荒れることがあります。それは「風化・風評・風刺」の3つの風です。

震災からの経過とともに、あの過酷な原発事故が忘れ去られようとしているのではないだろうか。福島第一原発の事故処理はいつまで掛かるのか？という問題も山積みのまま、しかも避難指示により故郷を強制的に離れた人

たちの苦悩に背を向け、事故の記憶や教訓も虚しく、原発再稼働のうごきもあります。

また、忘れられる一方で、福島産品に対する風評があり、県を挙げてその払拭に取り組んでいます。しかも払拭の対象が「社会に拡がる何となくの思い込み」なので、暖簾に腕押しです。それでも風評を加えている方へ対して、事実を知って欲しいと懇ろな働きかけが求められています。

そして払拭に尽力している中、被害者だと憤慨したり泣き寝入りする前に、潔白を証明すればいいだけだ！

この指摘が返され、放射能と騒ぎ立てる前に、放射線はレントゲンとして人間の役に立っている！

このバッシングにも似た風刺さえ投げ掛けられます。これらの遠まきで誹謗する排除の風は、全て悪かな人間の病いでしょう。この病の本質を知らせ治して下さる風の音：親鸞聖人の詞：至徳の風静かに衆禍の波転ず。仏様の徳が衆生の禍波を沈める。



『万葉の里風力発電所』（鹿島区右田）

新たな風、復興のシンボル、再生可能エネルギーとして、津波被害を受けた地域に造られた。鳥が風車に巻き込まれる「バードストライク」への配慮・工夫も講じられているようだ。

☆市外局番☆
[0197]

81-1313(ひなたぼっこ)

81-1616(湖畔の宿)

82-3939(FAX共通)

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

※今月の登録者の方々 18名様です♪

衝撃の大雪にも負けず…「ひなたぼっこの日常」



2020/12/02 14:29



2020/12/05 15:12



2020/12/05 15:13

こうして何気なくお話したり、笑ったり泣いたりしている事、あたり前ではないから…。
お別れがいつくるかも分からない事を知っているから、今が愛おしい。

お誕生日おめでとう

寄贈

- ★ 高橋 節男 様 [長瀬野]
- ★ 湯田小学校 様 [湯本]
- ★ 匿名様 ×2 [県外]
- ☆ 小松 陽子 様 [大曲]
- ☆ 梨子下 益実 様 [上野々]
- ☆ 中田 幸子 様 [東京都]
- ☆ 吉田 耕一 様 [盛岡市]
- ☆ 照井 和江 様 [北上市]
- ☆ 高橋 達子 様 [大野]
- ☆ 吉田 光幸 様 [埼玉県]

寄附

- ★ 東 英夫 様 [北上市]
- ★ 小専商店 様 [湯本]
- ★ 匿名様 [西和賀町]

ボラ

- 夕食介助お手伝い (12/1~12/31)
- ★ 匿名様 [湯本]
- 散髪 (12/3)
- ☆ 藤田 陽子 様 [川尻]

今日も元気をくれた支援

第86回

第86回目も前回に引き続き、家族会事務局長をお願いしております藤原輝夫氏より一筆頂戴致しました。



藤原輝夫さん

母トシ子のこと②

母は眠らなくなる等したため病院へ行つて相談した。神経内科を受診し、MRI検査等の結果、アルツハイマー型認知症と診断された。治療薬アリセプトを飲み始めたら安定した状態になり、デイサービスを利用しながらの生活に戻る事ができた。

しかし、平成29年5月13日、朝食のテーブルにつき一緒にご飯を食べようとすると、箸を使えない・右足に力が入らない等様子がおかしいと気づき、すぐ中央病院救急外来へ連れて行く。脳梗塞と診断され、即入院となった。

その後、つなぎ温泉病院

元気です！家族会♪

に転院しリハビリを行つてもらい、車いすながら3月31日に退院し自宅での生活に戻った。デイサービスを週3回利用させてもらっていた。血液さらさらの薬を飲んでいて、これで落ち着くものと思つていたが、10月11日、朝ご飯を食べる様子がおかしいので、つなぎ温泉病院へ連れて行くと、MRIの結果、再び脳梗塞で右目が見えていないと分かり、すぐ入院となった。

冬期間に入ったこともあり、春先までの約5ヶ月のリハビリ入院を続けさせてもらって、平成30年3月30日退院、自宅での生活に再び戻ることもできた。

この間、面会に行つて帰る頃になると毎回必ず、「オレはまだここに居るの？」「母さんは帰るのか？」「と言う。私の事は、ほぼ毎日面会に通い続けてくれた。マまだ来るがらな...と。

（続）

光寿苑のかお

【入居者紹介】



柏崎 良さん

湯田よりいらした乗らぬ雰囲気
 気で周りを和ませて下さるお母さま♪
 【担当:佐藤俊子・高橋はるみ】

良さんは、手芸・工作が得意で、五円玉で兜を作ったり、切り絵などの趣味がありました。息子さんと二人と孫・ひ孫さん五人に囲まれている中で、楽しそうに作っている姿が目に浮かびます。

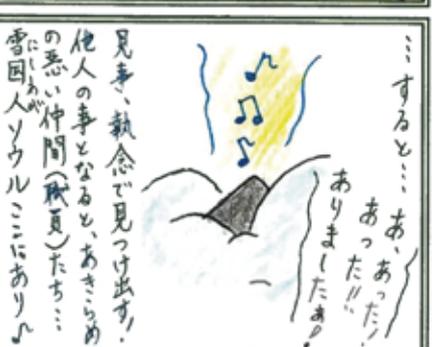
また、仕事では、土建業や南川商店・佐藤豆腐店の炊事場での作業をされていたとのこと。白い割烹着に三角巾を身に着けて、手際良く働いている良さんの姿が目に浮かびますね。

【俊子】



カラオケが大好きで、よく唄っていたという良さん。こちらは老人クラブで盛り上げ中のご様子♪

新春! 261号



イラスト：1000

雪の中に落とした物を見つけ出す難しさは、落とした経験のある方ならよくお分かりになる事だろう。(かも、他の方に協力頂くとすると、申し訳なく思う訳で... (しかし、このあきらめない協力の裏側には、今日落としてしまった職員や普救から人に尽くしている種がある。

人種差別は魂の病気だ。 どんな伝染病よりも多くの人を殺す。

(1990)
平成2年10月30日、私は

ちは東本願寺の白洲に設えられたママンデラ歓迎スペースの前で、ネルソン・マンデラさん一行の到着を待っていた。

彼は、この年の2月に釈放されるまでの27年間を、南アフリカの獄中で過ごした。南アフリカは、アフリカ大陸最南端の共和制国家だが、「アパルトヘイト」という「白人と非白人間の差別政策」で世界に知られた。マンデラさんが長い間刑務所に繋がれたのは、解放運動のリーダーだったことによる。世界中からの求めに応じて、漸く釈放され

ネルソンマンデラ

第261号
自然法爾 (じねんほうに)
マルタン房

いう予定だった。マンデラさんの差別に対する不屈の精神も、私たちは聴きたかった。... 日本政府に経済援助を求めたが、木下兼孝くったような返事しかなかったことは、マンデラさんの後日談である。この日、白洲から見た夕日を、私は忘れない。

マルタン房(丸田善明)

いつから乏しくなったのだろうか? 降り続く雪を前に、出るのはため息と愚痴ばかり。19才の頃、玄関先の雪かきを嫌々やる私に父は、「まあ座れ、宣承。なあ、観てみる! この広い白銀の世界を。白銀の中で雪かきできるのは、俺たちだけに与えられたもんなんだ。思考の時間も与えてくれる。そう思うと、嬉しくなってこないか! (笑)」そうして広くしなやかな感性を磨いてくれた。その感性を暖簾分けしてもらっていた筈なのに、きっと人は、感性も思考も環境から与えられ育み教わってきた事を忘れ我が物顔になった時、現象しか見れない乏しさに至るのかな。

※思い出せた今からリスタートです。

おわりに